

# 「先輩職員の声」

子育て健康部 健康づくり推進室

保健師

入庁5年目（令和5年時点）



## 現在の自分の仕事

現在、保健師は大きな分野に分けて子育て健康部・福祉部・市民生活部・教育子ども部に配置されています。私は一番保健師が多く属する子育て健康部の健康づくり推進室に所属しています。健康づくり推進室は、母子保健事業・成人保健事業・がん検診事業といった幅広い事業展開しています。また事業担当だけでなく、地区担当制もあり双方のことを学べる場所でもあります。ひとつの小学校区を受け持っており、その地域の特性を現地に出向いてカラダで感じつつ、子育てサロンなどの機関と連携しながら地域の人たちが健やかに妊娠・出産・育児ができるよう、妊娠期から子育て期と切れ目ない支援を心掛け取り組んでいます。

## 和泉市を選んだ理由

健康増進の分野で予防的な視点から地域の人々と関わりたいと思い、保健師の活動場所として公務員である市役所職員を考えました。さまざまな市町村があるなかで和泉市は、大型商業施設や テクノステージといった都会な要素がありながら、昔ながらの里山など豊かな自然が残っている田舎の良さも合わせて持つ「トカイナカ」という部分に魅力を感じ和泉市を志望しました。

## 実際に働いてみて

入庁して5年目になりますが、初めは専門職として責任を果たしていけるのか、その環境に慣れることができるのか不安でした。保健師としての仕事は、結果がすぐに目に見えてこないことも多々あります。まだまだ世間的にも、地域の人にとって保健師がどんなことをする存在か、役割も十分に知れ渡っているとは言えないかと思います。そのなかでも継続して関わり続けることで、少しでも安心して育児に取り組む姿が見られたり、話を聞いて気持ちが落ち着いたり等、保健師に相談して良かった!と思ってもらえるその瞬間が保健師活動のなかで「やって良かったな」とやりがいを感じます。時には、何がより良い関わりなのか迷うこともたくさんあります。そんな時は、先輩に相談しアドバイスを受れたり、研修など参加することでケースへの対応を学ぶだけでなく保健師としてのスキルアップにも繋がっています。



## 仕事の面白さや和泉市の良さなど就職してみて感じること

和泉市は、昭和 58 年より保健師が配属されて以降、増員を繰り返し現在 31 名が活動しています。私は、健康づくり推進室に所属していますが、他部門で活動している保健師との情報交換を行える場「HCS(和泉の保健を考える研究会)」があることが本市の強みであると感じています。そのような場があることで、普段の活動に活かしていけることはもちろん、一番は保健師同士の繋がりができ顔が見える関係性が作れることが何よりも嬉しかったです。また令和 5 年 3 月より「和泉市保健師人材育成ビジョン」が作成され、自分の成長段階を確認しつつ、段階的にスキルアップが行える仕組みがあることも新たな強みであると思います。



## これから和泉市を受験しようと思っている人へのメッセージ

保健師は、全ての世代を対象に幅広い分野で活動することができる専門職です。1 年目はわからないことが多く、不安になることもたくさんあるかと思います。でも、和泉市にはたくさんの先輩保健師がおり、知識だけでなく技術も合わせて一緒に経験を積みながら学ぶことができます。一人で抱え込まず、チーム一丸となって取り組むので分からないことがあっても、気軽に相談しやすい環境です。ぜひ、一緒にがんばりましょう！